

21. 子宮がん

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん  
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日									各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学療法	放射線療法		光線力 学療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーして ください	掲載されている内容		
				開腹 手術	腹腔鏡下 手術(腔式)		体外 照射	小線源 治療				治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1 婦人科・腫瘍科	37	10	状況 実績	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	妊孕能温存のために広汎子宮頸部摘出術や子宮頸癌に対する骨盤神経温存広汎子宮全摘出術など新しい術式の開発を積極的に行い、合併症の軽減に努めている。子宮体部(内膜)癌は、先進医療として腹腔鏡下子宮全摘出術+骨盤リンパ節郭清術を行い、低侵襲且つ良好な結果を得ている。	ア 腫瘍グループ <a href="http://www.osaka-med.ac.jp/deps/gyn/html/study/syuyo.html">http://www.osaka-med.ac.jp/deps/gyn/html/study/syuyo.html</a> イ 婦人科・腫瘍科 外来表 <a href="http://hospital.osaka-med.ac.jp/about/doctors/table_gyne.html">http://hospital.osaka-med.ac.jp/about/doctors/table_gyne.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
2			状況 実績								ア <a href="http://">http://</a> イ <a href="http://">http://</a>			
3			状況 実績								ア <a href="http://">http://</a> イ <a href="http://">http://</a>			
4			状況 実績								ア <a href="http://">http://</a> イ <a href="http://">http://</a>			
5			状況 実績								ア <a href="http://">http://</a> イ <a href="http://">http://</a>			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:子宮頸がん、子宮体がん 子宮頸がん、子宮体がん(肉腫含む)
------------------------------------	------------------------------------